

パークゴルフ場の建設について

四 竈 英 夫



〔質問〕ゲートボールやグラウンドゴルフは依然根強い人気があるが、近年、パークゴルフ愛好者が増えている。高齢化社会を迎え、健康寿命の重要性が叫ばれている現在、心身ともに健康で長生きしていただくためにも、パークゴルフは大変効果のあるものと考えます。面積はあまり取らず建設費も比較的安く抑えられることなどを踏まえて、パークゴルフ場の建設を検討してはどうか。

〔答弁〕【市長】本市では、市民の健康増進と体力向上を目的に、「誰でも・いつでも・どこでも」気軽に楽しむことができる生涯学習スポーツの普及・推進の観点から、グラウンドゴルフやシャフルボードなどの講座を小学校や公民館で開催している。また、市民グラウンドゴルフ大会も毎年盛大に開かれている。こうした現状から、現在ある施設を利活用しながら、高齢者の健康寿命への効果が望め、子どもから高齢者まで一緒に楽しむことができるグラウンドゴルフの推進に取り組んでいきたいと考えている。そのため、パークゴルフ場の建設は、現在のところ考えていない。

◎博物館建設の現状について

〔質問〕最近、歴女ブームなどで歴史に対する関心が高まっている。平成28年のNHK大河ドラマでは「真田丸」

が放映され、本市の登場も期待される。貴重な歴史の記録を保存し、後世に伝えることは我々の使命でもあると考える。そのための博物館建設について、規模と予定地、建設時期等を伺う。

〔答弁〕【市長】平成17年に白石市博物館建設構想委員会から答申を受け、平成18年に博物館準備室と博物館建設委員会を設置した。答申では、建設予定地は白石城周辺が良いと言われている。

しかしその後、白石高校と白石女子高校の統合や震災などがあり、正確な場所はまだ決定していない。旧白石高校跡地も視野に入れて検討していかねばならないと考える。

建設時期については、旧白石高校跡地の利用を宮城県に対して要望していくことになるため、時期については、答弁できない。

白石市まち・ひと・しごと創生総合戦略について

佐 藤 聡 一



〔質問〕白石市まち・ひと・しごと創生総合戦略の具体的な施策に、

着地型観光による交流人口の増があるが、本市の着地型観光商品をどのように作っていくのか、その手法を伺う。

〔答弁〕【市長】平成27年度から外国人向けの甲冑着用体験事業、白石城のAR再現事業、多言語の案内ホームページの開設等を行った。

今後も、本市の歴史・文化・伝統を活かした観光プログラムを充実させながら、豊かな環境資源を活かした自然体験・農林業体験等を市民や事業者とともに企画していきたい。外国人向けとしては、観光地案内だけでなく

飲食店やトイレ等の案内も多言語化が必要と考えている。

行政としてはどんな情報発信をしていくが、民間や商工会議所等との連携も模索していきたい。

〔質問〕総合戦略の目標は、人口減少と経済縮小の克服である。

そのため、重要業績評価指数（KPI）の指標に、経済効果に関する数字を出し、指標としていく必要があるのではないか。

〔答弁〕【市長】総合戦略で設定しているKPIは施設入館者数やイベントの参加者数等、行政の立場からの成果指標が多くなっている。

今後、指標の達成度を踏まえ、成果を客観的に検証し、必要に応じて施策や評価指数を随時見直ししていく。数値の適切な把握が

課題となり難しいかもしれないが、販売額、出荷額等の経済効果に関する数値を評価指標として活用できるか検討をしていきたい。議員からの質問で気づきをいただいた。当然、人口増加に対する指標の設定についても検討していかねばならないと考える。

◎交流試合における白石市代表選手のユニフォームについて

〔質問〕スポーツ交流大会や交流試合の代表選手となった子どもたちに、Tシャツなどのユニフォームを作成してはどうかを伺う。

〔答弁〕【市長】競技団体によっては、参加者が一部負担し作成していると聞いている。

競技参加者全員に無料でTシャツなどを作成することは難しいと考えられるが、今後、財団や交流協会、それぞれの競技団体と相談しながら検討していきたい。